

菜の花プロジェクト2013 報告会

平成25年12月7日（土）午前9時40分から、鳥取中央農業協同組合本所（グリーンコープ グリーン・太陽閣）を会場に倉吉市内小学校児童代表（58名）、中学校生徒会執行部（15名）が集まり、「菜の花プロジェクト2013報告会」を開催しました。

初めに、福井教育長が「倉吉市内の小中学生が『菜の花プロジェクト』に取り組んで今年で5年目となった。最初の年は、なかなかうまく育たなかった。いろいろな機関の皆さん、また、多くの地域の方々の知恵や力を借りて、今ではずいぶん育つようになってきた。今日の報告会は、こうした多くの方々へ感謝しながら行いたい。」とあいさつしました。

その後、各小中学校が発表を行いました。菜の花の種をまいた時の様子や今の苗の様子をスライドで紹介しながら、各学校の取り組みの報告や今後引き継ぎたいことについて提案してきました。主な発表内容は以下のとおりです。



【各学校の取り組み報告】

■ 菜の花について…黄色いじゅうたんを目指して

- ・種まき（砂を混ぜて）
- ・上学年が教える（ボランティアで）
- ・水やり、追肥、間引き、わらを敷く
- ・プランターに植える
- ・石拾い
- ・菜種油を採ってお菓子作りや地域の人に贈呈
- ・菜種を配布（全校・地域）
- ・種の収穫
- ・祭りに来られた人に種を配布（来年千葉県で咲くことが期待される）
- ・花壇づくり

■ 協力していただいた地域の方々や団体

- ・公民館
- ・保育園
- ・地域の振興会
- ・元気にする会
- ・子ども会
- ・シニアクラブ・老人クラブ
- ・ボランティアの方

■ 菜の花以外に取り組んだこと

- ・グリーンカーテン
- ・あいさつ運動
- ・いじめのない学校づくり
- ・収穫祭—地域の人とのコミュニケーション—
- ・地域学習—情報発信—
- ・クリーン活動、地域の清掃活動
- ・地域紹介のリーフレットを作って修学旅行で配布
- ・リサイクル活動
- ・かぐや姫プロジェクト（地域の不要な竹の伐採）
* 伐採した竹でプランターを作って地域に贈呈
- ・つつじプロジェクト（つつじの伐採）
- ・地域との各種交流



【次年度に引き継ぎたいこと】

- ・種をまく場所をもっと広げたい（土手にも）
- ・地域の方等にも種を分けてあげる
- ・立派な花を咲かせてほしい
- ・黄色のじゅうたんをもっと広げていきたい

各校の報告の後の感想発表では、「自分の学校ではしていない取り組みがあり、とても参考になった。」「地域の方との交流をさらにさかんにしていきたい」という発言が多くありました。

続いて、次年度に引き継ぎたいこととアピールについて全体で確認しました。このアピールは、中学生が原案を考えたものです。この確認の中で、代表の中学生は、「卒業してからも、サポートしていきたい。」と力強く話していました。



【菜の花プロジェクト2013アピール】

- ・つなげよう 笑顔と菜の花の未来
- ・広げよう つながり愛と地域の輪
- ・伝えよう 黄色いじゅうたんとすばらしいふるさとを

アピールが採択された後、関係機関の方々から指導講評をいただきました。

【国土交通省倉吉河川国道事務所 角田所長】

今年度のテーマ、「つながり愛の活動」を、熱心に工夫しながら活動しているのがよくわかった。全校、地域の人と活動しているだけでなく、園児との交流も素晴らしい。また、菜の花を咲かせる以外の活動として、あいさつ運動や清掃などにも取り組んでいることに感心した。

国土交通省は、河川や道路の環境整備、住みやすい地域づくり街づくりはもちろん、菜の花がたくさん咲くよう今後も皆さんと協力していきたい。

【JA鳥取中央 栗原専務】

JAは今年も大農業祭をやっている。この二日間多くの市民の方々に来てほしい。皆さんには、この後イベントステージで市民にしっかりとアピールしてほしい。

最初の年は、花も思うように咲かなかったが、取り組みを重ねるうちに、協力してくださる人が増え、だんだんときれいに咲くようになってきた。また、地域の人といっしょになって種をまいたり世話をしたりという報告を聞いて、「つながり愛の活動」のテーマにそって活動している様子がわかり、とてもうれしく思う。

JAの取り組みも「菜の花プロジェクト」に通じるものがある。JAもこの取り組みを全国に紹介、情報発信、協力していきたいと思う。



最後に当日開催されていたJA鳥取中央主催の農業祭のステージを借りて「菜の花プロジェクト2013アピール」を行いました。各中学校の代表生徒が各関係機関の方々にアピール文を贈呈しました。

「菜の花プロジェクト」は、今年度で5年目を迎えましたが、少しずつ応援してくださる方が増えていると感じます。中学2年生の参加者の感想には「自分たちには、まだまだできる活動があると思った。」という力強い言葉がありました。ふるさとに誇りと愛着を持つ児童生徒の皆さんに、心強さを感じた一日でした。

